

令和元年度(2019 年度)

病害虫発生予察情報 第7号

注意報第4号

北海道病害虫防除所 令和元年(2019 年)年6月12日

<http://www.agri.hro.or.jp/boujoshou/>

Tel:0123(89)2080・Fax:0123(89)2082

ヨトウガ卵塊を早期に多数確認 幼虫被害が進展する前に早めの防除を！

本年は5月以降の高温経過により、ヨトウガ第1回成虫の発生および産卵が平年より早く認められています。長沼町の予察ほにおける調査の結果、てんさいおよびキャベツで卵塊が多数確認されました。

今後1ヶ月も気温がやや高いと予報されているため、成虫の産卵および幼虫の加害が活発に行われると考えられます。

本種は薬剤散布が遅れると防除効果が得られにくくなります。すでに幼虫がふ化して加害が始まっているため、早めに防除を開始し、その後もほ場を観察して被害が進む場合は追加の薬剤散布を実施しましょう。

1. 発生地域 全道

2. 発生時期 早(既発)

3. 予想される発生程度 多

4. 注意報発令の根拠

- (1) 予察灯への初誘殺期が長沼町、北斗市および訓子府町で早く、滝川市ではやや早かった(表1)。長沼町および芽室町のてんさい予察ほにおいて、平年より早く産卵の初発が認められた(表1)。長沼町では各種作物でふ化幼虫による加害が認められている。
- (2) 長沼町および芽室町のてんさい予察ほ並びに長沼町のキャベツ予察ほにおいて、平年より多く卵塊が確認されている(表2、表3)。
- (3) 長沼町および芽室町のばれいしょ、長沼町のブロッコリーにおいて、6月2半旬に卵塊が認められている。
- (4) 6月6日発表の気象予報(付記:1ヶ月予報)によると、今後1ヶ月の気象は、気温はやや高く、降水量は平年並と予報されていることから、成虫の産卵および幼虫の加害が活発に行われると考えられる。

5. 防除対策

- (1) 幼虫に対する茎葉散布の防除効果は、若齢期が最も高く、齢が進むにつれて低下するので、防除適期を逃さないように注意する。
- (2) てんさいやあぶらな科野菜などヨトウガが常発する作物においては、「北海道農作物病害虫・雑草防除ガイド」に準拠して薬剤を選定する。
- (3) 本種による被害が常発する作物以外において本種の発生が認められた場合は、登録のある薬剤を使用し、できるだけすみやかな防除に努める。

表1 予察灯によるヨトウガ第1回成虫およびてんさいにおける産卵の初発期

	長沼町		比布町		北斗市		芽室町		訓子府町		滝川市	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
予察灯誘殺期 (月/日)	5/24	6/10	6/8	6/6	5/7	6/5	6/7	6/15	5/28	6/4	6/4	6/7
産卵 (月・半旬)	5.VI	6.III	—	—	—	—	6.I	6.III		6.V	—	—

注) 空欄は本年未誘殺もしくは未発生、時計文字は半旬を示す。

表2 予察ほのてんさいにおけるヨトウガ卵塊数

月・半旬	卵塊数(50株あたり)					
	長沼町		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	8	0.4	1	0.1	0	0.0
2半旬	12	2.9	1	0.6	0	0.0
3半旬		5.5		1.9		0.0
4半旬		6.2		1.8		0.7
5半旬		2.8		1.6		0.1
6半旬		1.3		0.6		0.4

表3 予察ほのキャベツにおけるヨトウガ卵塊数

月・半旬	卵塊数(10株あたり)			
	長沼町		北斗市	
	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0.2	0	0.3
2半旬	6	0.6	0	0.2
3半旬		0.6		0.3
4半旬		0.7		0.2
5半旬		0.8		0.2
6半旬		0.5		0.0

付記

北海道地方 1 か月予報
(6月8日から7月7日までの天候見通し)

令和元年6月6日
札幌管区気象台発表

＜予想される向こう1か月の気候＞

天気は数日の周期で変わるでしょう。

向こう1か月の平均気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は、平年並または高い確率ともに40%です。2週目は、高い確率50%です。

＜向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)＞

【気温】	北海道地方	20	40	40
【降水量】	北海道日本海側	40	30	30
【降水量】	オホーツク海側	30	40	30
【降水量】	太平洋側	30	40	30
【日照時間】	北海道日本海側	30	30	40
【日照時間】	オホーツク海側	40	30	30
【日照時間】	太平洋側	40	30	30

低い(少ない) 平年並 高い(多い)

＜気温経過の各階級の確率(%)＞

1週目	北海道地方	20	40	40
2週目	北海道地方	20	30	50
3～4週目	北海道地方	30	40	30

低い 平年並 高い